

メディカルタウン周辺における 信号設置に関する経過と今後

川西町政策推進課

1 今回の意見交換会の概要

置賜総合病院周辺の開発を進めている「メディカルタウン」について、道路整備による交通状況の変化及び今後の宅地分譲を見据えて、危険想定個所に対して信号機の増設を依頼するため、米沢警察署交通課職員と、町政策推進課にて意見交換を行った。

その内容を踏まえて、今後各関係機関等と意見交換を行いながら、当該地区への信号機設置の要望について進めていくもの。



想定箇所①R287横断箇所



想定箇所②梨郷道路川西交差点付近

2 信号機設置要望の理由

以下の理由により、町として当該箇所への信号機設置の必要性を感じており、今後各方面に協議を進めていきたいと考えていた。

(1) 道路交通状況の変化

以下の理由により、当該地周辺の交通状況が著しく変化している。

- 梨郷道路供用開始

令和6年3月の梨郷道路開通及び供用開始により、周辺住民以外の往来が著しく増加

- 商業施設の開発

ヤマザワ、ツルハの営業が始まったことにより、周辺住民以外の往来が著しく増加

- 医療機関の開業

医療機関（内科、内科呼吸器内科、整形外科）の開業により、周辺住民以外の往来が著しく増加



(2) 宅地分譲の推進

以下の理由により、近隣住民の構成に変化がみられる。



• 北側分譲地への子育て世代の居住

北側の分譲地について、全17区画が成約済み。10月1日時点で13区画が居住開始。未就学児がいる子育て世代も多く、今後当該道路を通学路として利用する児童が増加することが見込まれる。

• 南側分譲地の整備推進

南側の分譲地について、令和9年度分譲開始予定で、40～50区画程度の開発を推進。医療機関や商業施設、保育園も近くにあることから、北側同様、子育て世代の定住が予想され、通学路を利用する児童がさらに増加することが見込まれる。

※ 特に、子育て世代の分譲地購入を推進するため、周辺環境の整備、特に通学路における安全性確保の観点から、信号機の設置は非常に重要な課題であると考えます。

3 信号機設置を要望する位置の概要

前述の内容を踏まえて、2か所の信号機（押しボタン式）設置要望について米沢警察署と意見交換を実施。位置については別紙の位置図を参照。

(1) 国道287号線横断箇所

車の交通量が非常に多く、また、米沢川西間の道路整備が進むにつれ、さらに交通量増加が見込まれる。また、国道287号線からヤマザワ南側道路に侵入する車も非常に多く、登下校中の児童及びヤマザワ等を利用する近隣住民にとっては危険な箇所である。

(2) 梨郷道路川西交差点付近

国土交通省山形河川国道事務所の調査（次ページ）により、梨郷道路川西交差点利用者が1日あたり3,600台と推察され、町道高田仲沖線の交通量が増えていることから、近隣住民以外の、周辺環境を認知していない者の往来が非常に増えている。

加えて、当該町道の道路幅も広いため、比較的スピードを出して走行している車が多く、登下校中の児童及びヤマザワ等を利用する近隣住民にとっては危険な箇所である。

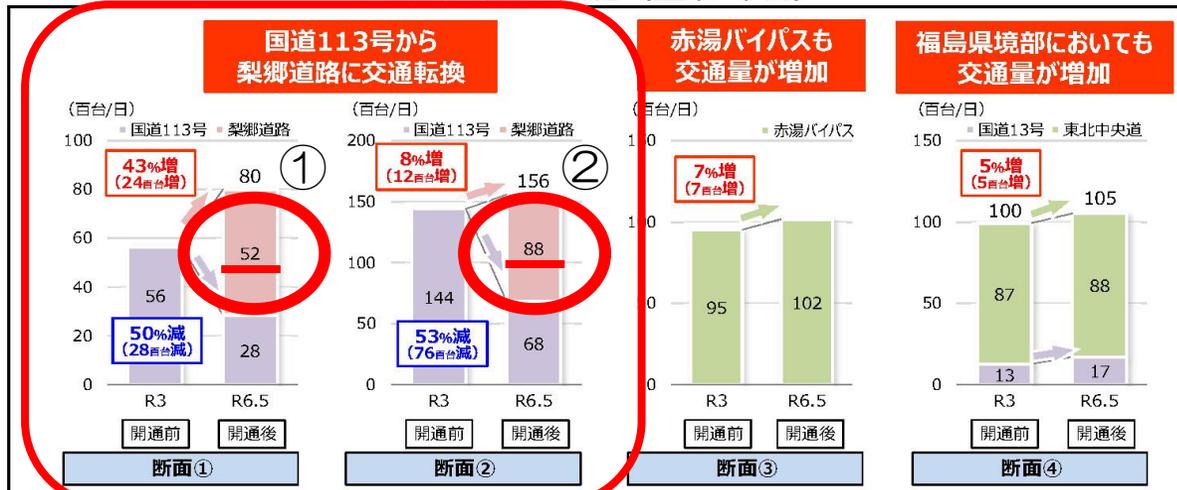
①国道113号梨郷道路<<開通後の交通状況>>

- ◆国道113号から梨郷道路への交通転換が図られ、断面交通量は約1～4割増加。
- ◆隣接する赤湯バイパスや福島県境部においても交通量が増加。
- ◆春の行楽期には、梨郷道路の交通量は約3～6割増加し、赤湯バイパスや福島県境部においても交通量は増加。

▼位置図

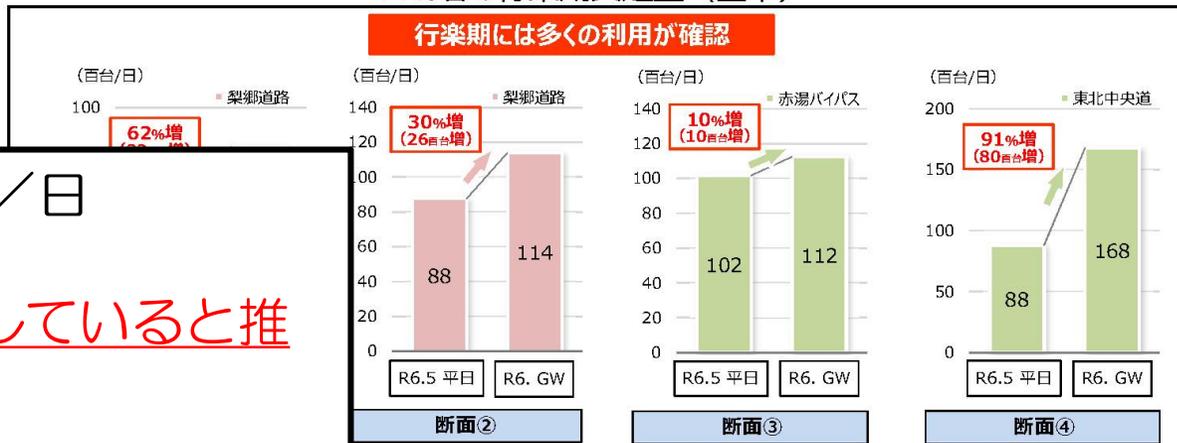


▼断面交通量の変化 (全車・平日)



出典：(R3)全国道路・街路交通情勢調査
 (R6.5) 国道113号並行現道：実態調査 (R6.5.14・15の平日2日間平均値)
 梨郷道路・赤湯バイパス・東北中央道・国道13号：トラフィックカウンターデータ (R6.5.7～31の平日19日間における平均値)

▼R6春の行楽期交通量 (全車)



出典：(R6.5平日) トラフィックカウンターデータ (R6.5.7～31の平日19日間における平均値)
 (R6.GW) トラフィックカウンターデータ (R6.4.27～5.6の10日間における平均値)

①113号との結節点 (断面①) 5,200台/日
 ②新幸来橋付近 (断面②) 8,800台/日
 上記の差3,600台が、川西交差点を利用していると推察される。
 ※国土交通省山形河川国道事務所資料

○：対象自治会
○：信号設置要望箇所

大塚小学校

- 桧自治会：6人
 - 松森自治会：8人
 - 高田自治会：3人
 - 虹のみえる丘（メディカル）1人
- 桧自治会と虹のみえる丘の子どもは梨郷道路川西交差点を
経由し、4自治会、計18名の児童がR287を横断する。
現在は、近隣住民と、安全協会の協力により一時車を停止
させ、安全に横断できている。

4 今後の進め方について

米沢警察署との意見交換を踏まえ、以下の見解をいただいたため、今後、下記の内容で要望に向けて取り組んでいく。

- 新設は難しいが「移設」であれば可能性はゼロではない。
- 「要望書」を提出するスタイルであれば、口頭の要望と比較して、可能性が出る。

☆ステップ1 関係団体との意見交換

以下の関係団体と意見交換を行い、情報共有及び収集を図る。

- | | | |
|-----------------------------|---|---------------|
| ア 大塚地区交流センター | ⇒ | 8月21日に実施 |
| イ 大塚小学校（教職員、保護者） | ⇒ | 9月 4日に校長先生と実施 |
| ウ 近隣自治会等（桧、松森、高田、虹のみえる丘居住者） | ⇒ | 今年中を目安に今後実施予定 |

☆ステップ2 関係各課との情報共有

(1)でいただいた情報をもとに、町の関係各課と協議を行い、正式に要望していくか等を検討し、今年中に一定の方向性を出す予定。

☆ステップ3 要望書の提出

大塚地区住民を含めた関係団体の意見、町的意思を踏まえた要望書を作成し、米沢警察署に対して要望書を提出する。

5 さまざま感想を教えてください

本日ご説明させていただいた内容について、みなさまのお考えをお聞きさせていただきたいと考えています。

つきましては、下記QRコードを読み込んでいただき、アンケートへの回答についてご協力をお願いします。

アンケート結果をもとに、今後の要望活動につなげていきたいと考えていますので、数多くの回答をお願いします。



 アンケート用QRコード

☆本日はご清聴ありがとうございました☆